

ルビルについては、今年五月、県に「大館能代空港ターミナルビル基本計画検討委員会」が設置され、県から示された素案をもとにターミナルビル施設についての検討が行われています。この委員会には、県北の四首長と商工会議所等経済界の代表が委員として参加しており、地元の要望がより多く反映されるよう意見を述べてきたところです。

会議はこれまでに三回開催され、「ビルの施設規模は長野県の松本空港、島根県の石見空港と同規模の約三千五百平方メートル程度で、鉄骨・鉄筋コンクリートを基本としながら屋根部分や内装に木材を使った構造にする」という意見が大方でした。基本計画は来月中にまとめ

る予定になっています。

また、空港ターミナルビルを管理運営する「大館能代空港ターミナルビル株式会社(仮称)」は、第三セクターとして来月中旬に設立する予定で準備が進められています。このターミナルビル株式会社設立に際して、県から県北十八市町村及び四商工団体などに出資要請がありました。当市には、資本金四億九千九百万円のうち、四%にあたる一千九百六十万円(三百九十二株)の出資要請があり、本定例会の補正予算に計上されています。当市では、ターミナルビル株式会社の運営には、地元として積極的に参加したいと考えますので、皆さんのご理解を賜りますようお願いいたします。

## 農作物(水稲)の

### 生育状況について

今年の水稲の生育は、七月に入ってから雨の日が多く日照不足であったこと、中干しが十分に行えなかったことなどから軟弱徒長気味であり、部分的に倒伏が見られます。

先に東北農政局秋田統計情報事務所が発表した八月十五日現在における平成七年産水稲の作柄概況では、穂数がやや少ないことから指数九八の「やや不良」であると見込まれています。しかし、今後の豪雨や台風などにより倒伏面積が更に拡大することも予想されますので、これ以上の減収にならないよう、気象予報に十分注意して管理する必要があります。

特に、刈り取り以前の倒伏による影響については、登熟歩合や千粒重の低下のみならず、穂発芽などにより品質、収量の低下につながるため、被害を最小限にとどめるよう指導を徹底していきます。

## 雪沢小学校

### 校舎改築工事について

雪沢小学校の改築工事は、昨年八月十七日に提案コンペの優秀案が選定されて以来、八年四月の新校舎での授業開始に向けて計画を進めており、去る八月四日には、



建物本体工事の請負契約について臨時議会でご審議いただきました。八月八日には機械設備工事、電気設備工事の入札を執行し、機械設備工事は七千四十五万円で古家燃料が、電気設備工事は五千七百八十八万円で羽後電設工業が落札しています。

建設用地にあった旧雪沢中学校校舎の解体作業も終わり、八月三十一日には請負業者による安全祈願祭が行われました。現在は杭打ち作業に入っています。

雪沢小学校は秋田杉の主産地雪沢地域にあり、しかも主要地方道大館・十和田湖線、通称「樹海ライン」沿いに建築されることから、周辺環境にマッチした木造校舎を計画しています。地元産の木材を

ふんだんに使用するとともに、天然秋田杉の丸太を玄関ホールや校舎の主要部分に活用する予定です。

## その他の行政報告

▽秋田桂城短期大学について  
(6ページに関連記事)

▽交通事故対策について

▽平和祈念・戦没者慰霊式について

▽95大館大文字まつりについて

▽降雨災害について

▽平成7年度大館市の成人式について

▽東北総体ウエイトリフティング競技について

▽公共事業の発注及び進捗よく状況について



島根県の石見空港ターミナルビル